

総合診療科専門医教育プログラム

総合内科専門医教育プログラム

リウマチ膠原病内科専門医教育プログラム

教育プログラムの特徴

- ✓ 急性期・慢性期の臨床能力が身に付き、総合診療科・総合内科だけでなく、**リウマチ膠原病**の基礎を学べる
- ✓ 院内外から診断困難例が数多く集結し、診断だけでなく、多くの**疾患の治療まで担える**
- ✓ 国内留学先（連携病院）が豊富で個人の志向に合わせた**オーダーメイド研修が可能**
- ✓ 当院の要として仕事を任されるだけでなく、**外来教育・入院教育**を責任を持って行います
- ✓ **こんな先生におすすめ！**
 - 臓器専門家になる前に、十分な内科の土台を身につけたい！
 - 総合内科、総合診療の専門家になりたい！
 - リウマチ膠原病の専門知識・技能を会得したい！



▶ 良い医療サービスを提供するために

総合内科では、専門科がはっきりしない疾患、確定診断が難しい疾患などを総合的に診断・治療します。昨今、複雑な病態を持つ患者さまが増加してまいりました。狭い範囲の領域（専門科）の知識では適切な診断・治療が困難な場合があります。このような場合、幅広い知識を持った医師がチームとなって、ディスカッションしながら正しい診断・治療を進めていくことが求められます。従来、一宮西病院内科は各科で総合診療も担っておりましたが、専門科を越えた幅広い知識を集結し、正しく迅速に診療できるよう総合内科を開設しました。当科スタッフは、すでに各科専門医の資格や技術を習得した医師で構成され、さらには総合診療にも十分な能力を持つ医師集団であります。一人の医師の独断で診療をすすめるのではなく、患者さまのお悩みを共有し、当科のスタッフはもちろん、他科の専門集団とも密に連携し、専門家同士が協力して治療にあたることで、より良い医療サービスを提供しています

▶ リウマチ膠原病について

当科は特に、感染症、リウマチ膠原病、老年医学、内科全般を得意としており、多岐にわたる診療に対応しています。複数の臓器障害を抱えた複雑な患者さま、不明熱などのまだ診断が付いていない患者さま、リウマチ膠原病を疑われる患者さまなど、どんな症例でもできるだけ丁寧に診療を行っています。また、病気があるかは分からないが、少しでも心配な患者さまも安心して受診していただけます

選択できる3つのコースとプログラムの魅力

- ▶ 一宮西病院の総合内科では、総合内科、リウマチ膠原病科、総合診療科が学べる日本では数少ない専門施設で、個人の志向に合わせてそれぞれ3つのコースを選択できます
- ▶ 定期的な振り返りを行い、個々のニーズに合わせてコースを選択でき、卒後6年目の進路決定の際にも支援を惜しみません
- ▶ 当院の教育の要として様々な仕事を任しつつ、外来教育、入院教育を徹底して行います
- ▶ 自分も患者様も、他科もコメディカルも病院も地域も皆Happyにしていくことをゴールに設定して教育しています

総合診療科

コース

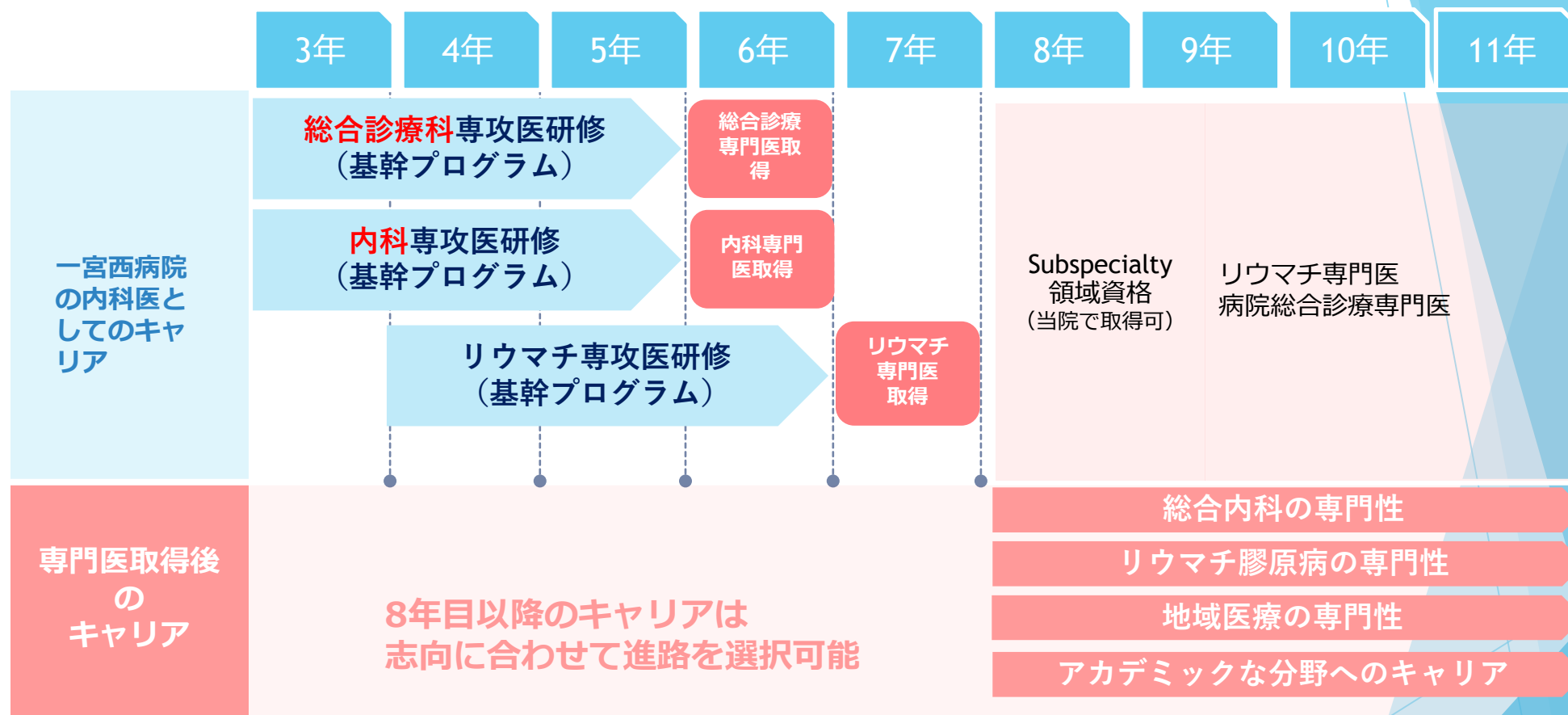
総合内科

コース

リウマチ膠原病内科

コース

総合内科、リウマチ膠原病内科、総合診療科の キャリアパス



総合診療科コース

- 内科領域を幅広い連携病院と協働し、小規模急性期から大規模急性期、地域医療、在宅まで満遍なく学べる総合診療内科研修（基幹）プログラム
- 内科コースに負けない内科力を身につけることができます
- 連携病院では、急性期小規模病院、亜急性期、慢性期さまざまなシチュエーションで教育を受けます



- 卒後3年目は、総合診療科からローテーションを開始した後、救急科、小児科にてローテーションします
- 卒後4年目は、連携施設（豊田地域医療センター、安房地域医療センター、総合在宅医療クリニック）にて研鑽を積みみます
- 卒後5年目では、国内留学の研修を終えた後、総合内科で研修を行います


総合診療科の連携先

- ▶ 総合診療科では、急性期小規模病院、亜急性期、慢性期さまざまなシチュエーションで教育を受けることができます

岐阜県

在宅医療

かがやき総合在宅医療クリニック



特徴：岐阜県初の在宅医療専門クリニックとしてスタートし、医師・看護師だけでなく音楽療法士、管理栄養士、歯科衛生士などの多職種で地域の在宅医療に取り組んでいます

一宮西病院

愛知県

地域医療

豊田地域医療センター




病床：190床
特徴：一般病床150床、回復期リハビリテーション病床40床からなる二次救急医療機関。在宅医療に力を入れ地域で総合診療医を育成することを目指しています。

千葉県

小規模急性期病院

安房地域医療センター



病床：149床
救急センター・透析センター・リハビリテーションセンターの機能を有した救急棟を兼備し、二次救急指定病院。南房総の地域医療のネットワークを担う病院として地域医療の研修が行えます。

総合診療科コース

■ 豊田地域医療センター(愛知県)

日本で最も人が集まっている総合診療科コース。亜急性期から慢性期医療を学び、ジェネラリストネットワークを構築しよう。

■ 安房地域医療センター(千葉県)

亀田総合病院の家庭医コース内科研修の本拠地。150床規模の急性期病院はジェネラリストの活躍の絶好の場です。スーパー家庭医から教育を受けられます。

■ 総合在宅医療クリニック(岐阜県、当院から車で25分)

全国から人が集まるスーパー在宅クリニック。教育できる在宅医の育成目指し、MKSAPを含む日々の勉強会、まちづくり、新しい拠点展開など挑戦を続ける。



総合内科コース

- 総合内科医、病院総合医を目指す医師向けのコースです
- 総合内科を軸に、ICU、血液内科、腎臓内科など強化したい部分をローテートできます
- 連携病院では、他院の総合内科にてジェネラリストとしての幅を広げることができます

卒後年数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5 年次	総合内科 (1年間)											
4 年次	連携施設（麻生飯塚病院、聖隷浜松病院、倉敷中央病院、東京医療医療センター）にて研修 (1年間)											
3 年次	① 院内からの持ち上げりの場合、1年間希望する診療科を希望する期間ローテーション ② 専攻医から当院研修に参加する場合は、総合診療科からローテーション後、希望の診療科をローテーション											

- 卒後3年目は、①院内持ち上がり②専攻医から当院研修参加でローテーションする診療科が異なります
 - ①院内持ち上がり：消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、内分泌内科、腎臓内科、腫瘍内科、血液内科、神経内科から希望する診療科を中心にローテーションします
 - ②専攻医から当院研修に参加：総合診療科からローテーションを開始した後、希望する診療科を希望する期間ローテーションします
- 卒後4年目は、連携施設（麻生飯塚病院、聖隷浜松病院、倉敷中央病院、東京医療医療センターなど）にて研鑽を積みます
- 卒後5年目では、国内留学の研修を終えた後、総仕上げとして総合内科をローテーションします

日本全国の総合内科 プログラム連携先

▶ 医局に縛られず全国の有名病院との連携により、様々な専門医資格を取得可能です



岡山県

倉敷中央病院

病床：1,172床 救急指定：3次急
救急搬送患者：25名/日
救急外来患者：111名/日
入院：945名/日
外来：2,504名/日



沖縄県

浦添総合病院

病床：334床 救急指定：3次急
救急搬送患者：14名/日
救急外来患者：59名/日
入院：26名/日
外来：261名/日



福岡県

飯塚病院

病床/1,048床 救急指定/3次急
救急搬送患者：15名/日
救急外来患者：49名/日
入院：823名/日
外来：1,719名/日
九州最多の救急車受入れ、救急医療から、移植、がんまで幅広い診療に対応



福岡県

聖マリア病院

病床/1,097床 救急指定/3次急
救急搬送患者：30名/日
救急外来患者：121名/日
入院：716名/日
外来：815名/日



愛知県

愛知医科大学病院

病床：900床 救急指定：3次急
救急搬送患者：14名/日
救急外来患者：59名/日
入院：26名/日
外来：261名/日



静岡県

聖隷浜松病院

病床：750床 救急指定：3次急
救急搬送患者：19名/日
救急外来患者：42名/日
入院：683名/日
外来：1,544名/日



神奈川県

海老名総合病院

病床：479床 救急指定：3次急
救急搬送患者：23名/日
救急外来患者：52名/日
入院：382名/日
外来：408名/日



東京都

東京医療センター

病床：640床 救急指定：3次急
救急搬送患者：16名/日
救急外来患者：30名/日
入院：484名/日
外来：1,329名/日



東京都

がん研有明病院

病床：686床 救急指定：2次急
救急搬送患者：780名/年
救急外来患者：2855名/年
入院：206,790名/年
外来：1,699名/日



千葉県

千葉西病院

病床：608床 救急指定：2次急
救急搬送患者：32名/日
救急外来患者：33名/日
入院：588名/日
外来：1100名/日
カテテル件数：全国1位



千葉県

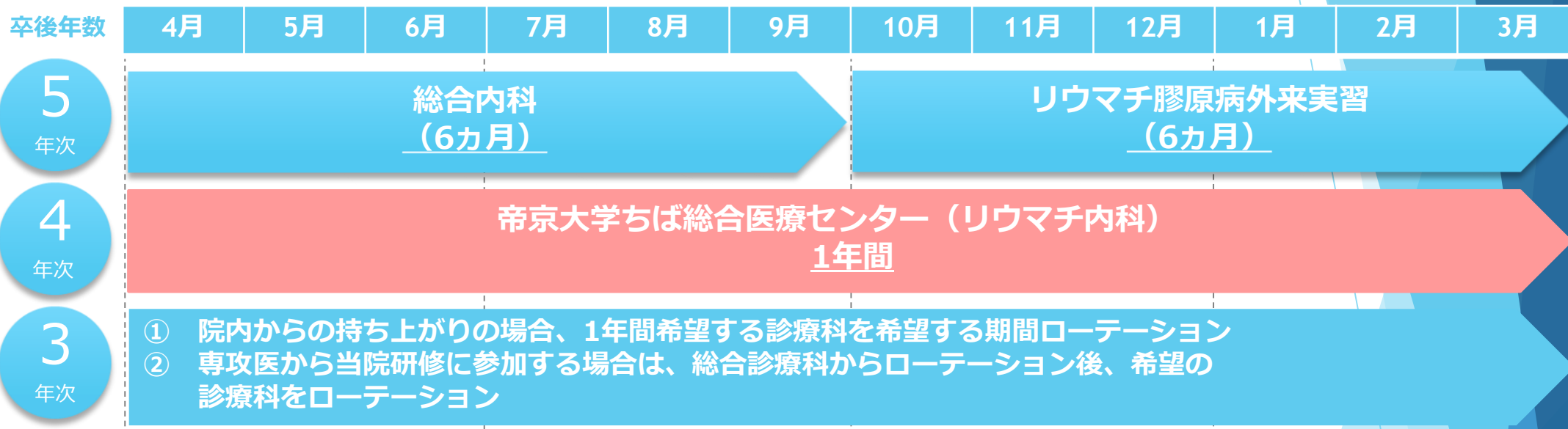
帝京大学ちば総合医療センター

病床：475床
475床の大学病院として診療・研究・教育という機能を活用し、地域医療の核となる病院として、また、千葉県の救急基幹センターとしての他の救急医療施設からの転送患者の救命救急医療も担当し、腎センター・リハビリテーション部では専門医を中心とした医療体制と充実した最新設備で治療にあたっています



リウマチ膠原病内科コース

- ・ 強力な内科力を身に着けつつ、リウマチ膠原病を専門に学んでいくコース
- ・ 後期2年目では、日本有数のリウマチ膠原病教育病院で専門家の道を研鑽してもらいます
- ・ 3年目では当院に戻り、総合内科に加えてリウマチ膠原病外来もお任せします



- 卒後3年目は、①院内持ち上がり②専攻医から当院研修参加でローテーションする診療科が異なります
 - ①院内持ち上がり：消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、内分泌内科、腎臓内科、腫瘍内科、血液内科、神経内科から希望する診療科を中心にローテーションします
 - ②専攻医から当院研修に参加：総合診療科からローテーションを開始した後、希望する診療科を希望する期間ローテーションします
- 卒後4年目は、連携施設（帝京大学ちば総合医療センターのリウマチ内科）にて研鑽を積みます
- 卒後5年目では、国内留学の研修を終えた後、総合内科、リウマチ膠原病外来実習を行います

リウマチ膠原病内科の連携先

- ▶ 総合診療科では、急性期小規模病院、亜急性期、慢性期
さまざまなシチュエーションで教育を受けることができます



千葉県

帝京大学ちば総合医療センター

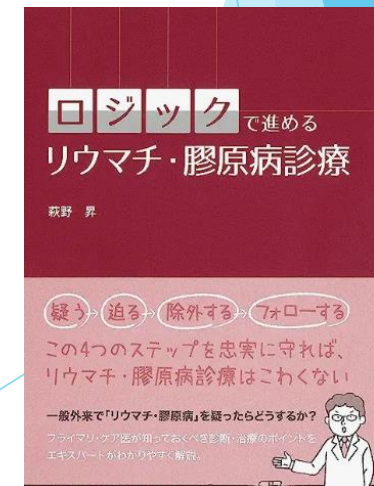
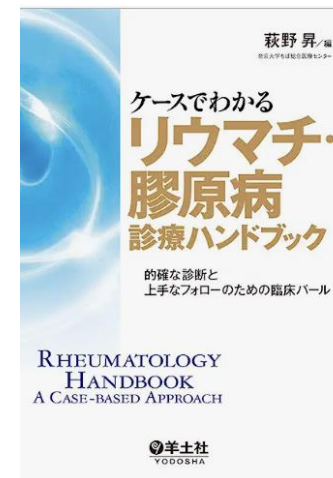


病床：475床
475床の大学病院として診療・研究・教育という機能を活用し、地域医療の核となる病院として、また、千葉県の救急基幹センターとして他の救急医療施設からの転送患者の救命救急医療も担当し、腎センター・リハビリテーション部では専門医を中心とした医療体制と充実した最新設備で治療にあたっています。

リウマチ膠原病コース

■ 帝京大学ちば総合医療センター

- リウマチ膠原病の臨床力を身につける場としては、聖路加に並んで日本トップレベル。
- 萩野昇先生から、リウマチ膠原病の全てを学ぶことが出来る。
- 1年間行くことにより、スタッフとして入院、外来などを任される。
独り立ち出来る レベルを目指せる！
- 週3回のリウマチ膠原病ジャーナルクラブ、週1回の朝レク、多くのリウマチ膠原病関連の執筆機会、学会発表など、リウマチ膠原病満喫できる。



医学教育のプロとして

一般感染症、診断の付いていない症状、高齢者の方の複雑なケース、リウマチ膠原病疾患などを診療させていただいております。毎日入院カンファレンスを行い、科内の連携を強め、チームで患者さまを診ることで医療の質を保っております。

研修医外来指導：

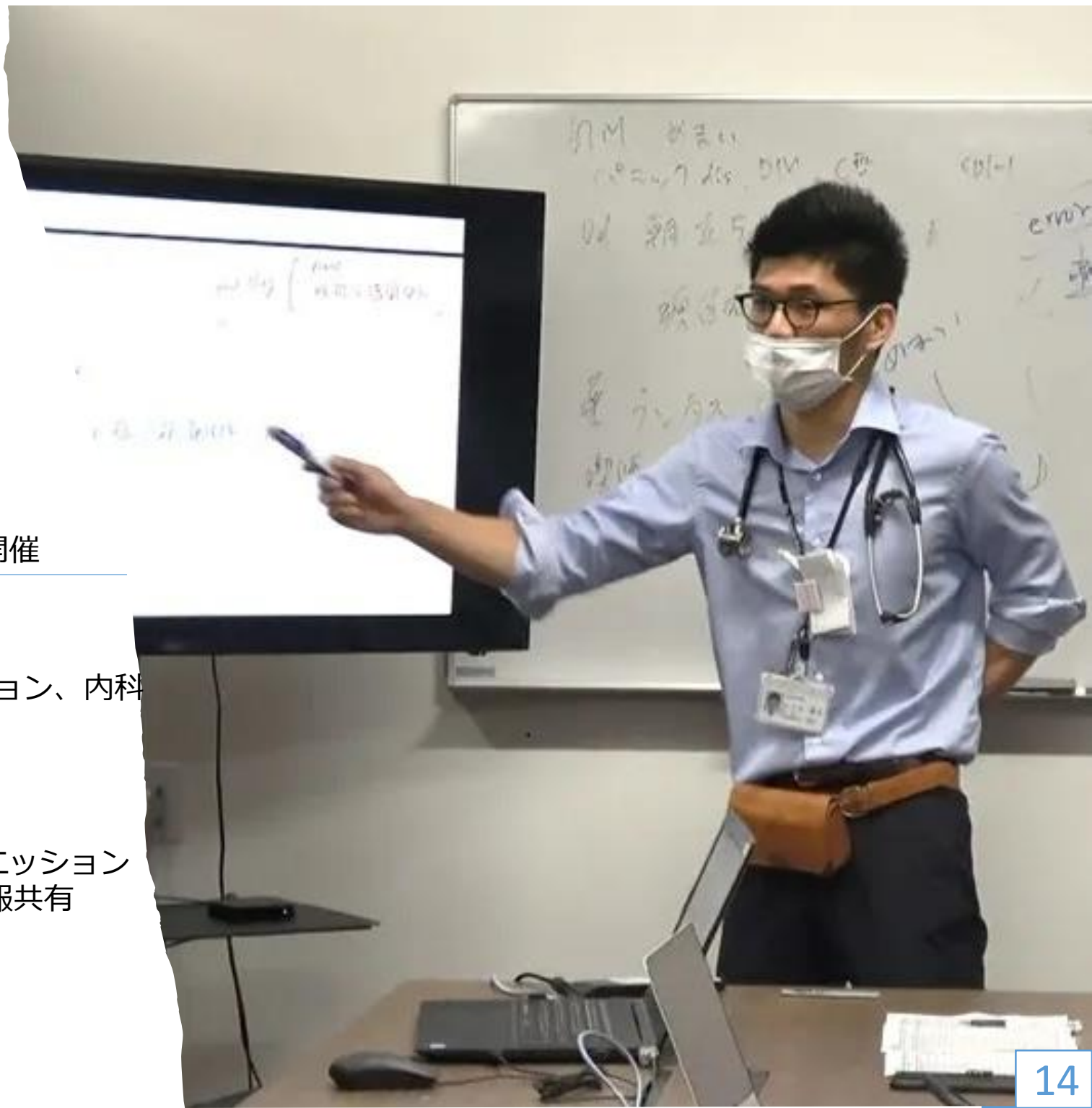
- 毎年春に「外来診療セミナー」の開催
- PGY2の通年内科外来の指導

研修医病棟指導：

- PGY1, PGY2で合計3ヶ月ローテーション、内科指導
- 後期研修医の教育指導

科内の教育：

- ジャーナルクラブ、クリニカルクエッション
- Teamsによるオンライン教育・情報共有



1週間スケジュール

▶ 総合内科外来

- ・月-金(午前): 院内外の原因不明症例が集まっています。珍しい疾患も紛れます。
ex. SLE、菊池病、PMR、リケッチア感染症、梅毒、ベーチェット病、家族性地中海熱、感染性心内膜炎、リンパ腫

▶ リウマチ膠原病外来

- ・内科系のリウマチ専門医の常勤が周囲に不在のため、周囲のリウマチ膠原病患者が集まってきています。

時間帯		月	火	水	木	金
早朝	8:00~ 9:00	内科 カンファレンス	入院 カンファレンス	入院 カンファレンス	入院 カンファレンス	入院 カンファレンス
午前	9:00~ 12:00	病棟	外来 (総合内科)	病棟	病棟	病棟
午後	12:00~ 16:00	病棟	病棟	病棟多職種 カンファレンス	病棟	外来 ※希望者 膠原病外来
夕刻	16:00~		ジャーナル クラブ	病棟ラウンド		